

210607 世界文化遺産地域連携会議2020年度総会

(リモート)議事録

(開会)

お世話役・井戸

皆さんこんにちは。コロナ関係に加え、市町村議会のシーズンということで、大変お忙しい中、お集まり下さいます有難うございます。一般社団法人、世界文化遺産地域連携会議の、事務局をさせていただいております、井戸と申します。それではこれから、リモートという形にはなりますが、会の2021年度・総会を開催させていただきたいと存じます。

まず、本日のご参加者についてです。総会は社員数163に対しご本人がリモート出席いただいている方が46名、代理出席が31名、そのほかに事前に委任状をご提出下さった方が33名おられます。合計110名ということで、定款11条の「過半数」と言う基準を満たしております。従いまして、本日の総会は有効に成立いたします。

それでは開会にあたりまして、門川代表理事より一言ご挨拶をいただきたいと思っております。

(開会あいさつ:門川代表理事)

門川代表理事

みなさんこんにちは。10年前のちょうどこの6月7日に、当時、日本にありました11の世界文化遺産を有する地域、そして各界の有識者の皆さんが集まり、世界文化遺産地域連携会議が結成されました。

「こうした会があったらいいなあ」ということは、それ以前から言われていたのですが、

実際にそれを作るというのはまた別の話でありまして、結成までにも様々、紆余曲折がありました。

世界遺産は「類まれな価値や個性」を以て選ばれた、人類の財産です。それ故に、それぞれの立場・ポリシーを大事にしていくということと、連携して何かをやっていくことの間には、超えていかねばならないいくつかの課題もありました。

様々な意見が出る中、共通課題として掲げられたのは「千年先にまで必ずこの世界遺産を伝えて行く」ということでした。また、まずは連携組織にしかできない分野に、活動をしばって行こうということになりました。

第1にノウハウ交流を進める、第2には国等に対し積極的に提案をおこなう、そして第3に、自ら無理のない範囲で可能な共同事業を実現する。そうしたことから始めて行こうということになりました。

大きなところでは、2014年には意見交換と相互交流のための「世界遺産サミット」が、2015年には「世界遺産特別法」の制定など求める要望活動が、また2019年には全体の共同事業である「世界遺産リレー催事」がそれぞれスタートしています。こうした一定成果を出せるような体制になって来たのは、関係各位のご理解ご協力があったからこそだと思っております。この場をお借りし深く感謝申し上げます。

とは言え、会が本領を發揮すべきはいよいよこれからの時代かも知れません。次の10年20年に向け関係各地はもちろん、国の発展についてもその一翼を担い、持続可能な社会の実現や世界平和を目指す組織に成長させて行きたいと思っております。

一方、わが国20番目の世界文化遺産として「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、イコモスから「世界遺産一覧への記載が適当」との勧告がなされ登録に向かっており、当会に温かく仲間としてお迎えできればと思っております。

また、国におかれましても、文化庁文化審議会世界文化遺産部会において、「我が国における世界文化遺産の今後の在り方(第1次答申)」が取りまとめられ、世界遺産一覧表記載の意義や、持続的な保存・活用の在り方における国と地方の役割などがうたわれており、世界文化遺産の新たな政策の方向性が打ち出されてきたと感じています。

本日後半の部では、皆様方より、次の10年に向けたご意見やアイデアなどをどんどん出して頂きたいと思っております。

それではこれから議事を進めさせていただきます。

(新メンバーの紹介)

門川代表理事

事務局より、資料の説明をお願いします。

お世話役・井戸

資料1Pの上側をご覧ください。まず、2020年度に新しく会のメンバーになられた方をご紹介いたします。MEBUKU 代表取締役の入江田翔太さん、立命館大学・歴史都市防災研究所長の大窪健之さん、NAKED エグゼクティブ・プロデューサーの久保哲矢さん、以上のお三方が新しく会のメンバーに加わられました。いずれも沖縄での世界遺産サミットでパネリストをおつとめ下さった皆さんです。

新メンバーのご紹介は以上です。

門川代表理事

新しく民間メンバーになって下さった大窪先生、久保哲矢さんお一言自己紹介を

立命館大学・大窪

立命館大学の大窪です。井戸事務局長、門川市長、ご紹介いただきありがとうございます。

まずは会の結成十周年心よりお祝い申し上げたいと思います。こういった特別な機会に自己紹介させていただくお許しを頂きまして心より光栄に思っております。

わたくし自身は91年に京都大学の建築学科を卒業いたしまして、その後2008年に立命館大学の環境都市工学科の教授のお話を頂き、2013年から陸士都市防災研究所所長を兼任しております。

日本イコモスには2004年から加入をさせていただいております。

歴史都市の防災という研究活動を世界文化遺産に展開するべく、イコモスに危機管理委員会という組織があるんですが、そちらのメンバーとして活動を続けさせていただいています。

我々の研究所では2007年から世界文化遺産と危機管理という形で継続をさせて頂いておりまして、2018年より所長をしております。

特に途上国での現場で求められる研究や教育の実践に取り組んでいます。

なお、2019年末に日本イコモスの岡田委員長から国際イコモスの理事の方に推薦を頂きまして、選挙活動を多くの方々のご支援の下行いまして、今年の一月から国際イコモスの理事の選出を頂きました。

特に災害の現場では不動産の文化遺産、有形と無形の文化遺産ですね、同時に並列的な災害対策が非常に重要となっております。緊急時はもとより、災害予防の観点から総合的な災害対策が実現できるように知恵を絞って参りたいと思っております。

わたくしにできる事は非常に些細ですが世界文化遺産の災害安全推進に向けて真摯に取り組みたい所存ですので引き続きましてご指導ご鞭撻のほどをなにとぞよろしくお願いいたします。

本日は本当におめでとうございませう。

門川代表理事

有難うございませう。大窪先生には京都でも大変お世話になっておりますが、この度、日本から唯一のイコモスの理事になられたということで、大変お忙しい中、誠にありがとうございます。

では久保哲矢さん。

ネイキッド・久保哲矢

株式会社ネイキッドの久保と申します。よろしくお願ひいたします。

まず始めに本年10周年という事で、大変おめでとうございませう。簡単ではございませうが、自己紹介させていただきます。

冒頭、井戸様からもご紹介いただきましたように、昨年の世界遺産サミットで「世界遺産とIT」という分野で登壇をさせていただきました。

我々はですね、クリエイティブで世の中の価値を作っていくという所をテーマにした会社でして、国内外世界の様々な場所で色々な方々と共に価値づくりというものを行っているクリエイティブカンパニーでございます。

例えば京都市関係では、二条城で過去五年以上、光の演出をさせて頂いたりとかプロジェクションマッピングで、所謂ユニークメニューの開発をさせていただいております。

二条城の歴史や価値を伝えながらもっと広くなおかつノンバーバルで色々な方々にお伝えして、今まであまりお越し頂けなかった方々にお越しただける、今までお越しくださった方々にもより分かりやすく楽しくお届けすると言う所ですね、演出を担って来させていただきます。

その他、オンライン等々ですね、ARとかVRを使いまして、コロナの中、来てもらう観光以外に、適切に知って頂くとかですね、コロナが空けたときに来ていただくための様々な仕掛けづくりという所をさせていただいております。

そういった事を昨年のサミットでは発表させていただきました。

今後も世の中が移り変わる中でございますので、様々なアプローチで新しい技術と演出とテクノロジーで世界遺産を世界にもっと広めていくところで我々なりに貢献できる場所があるんじゃないかという所で今回参加させて頂いております。引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございます。

門川代表理事

有難うございます。若い皆さん、また新しい分野の方々がメンバーになって下さるというのは大変嬉しいですね。宜しくお願いします。

では、ここからは議事に入ります。

事務局より、議案1・2について事務局よりご説明をお願いします。

(議案1・2)

お世話役・井戸

PP1 資料1Pより、昨年度の会の活動をご報告させていただきます。

会の活動内容の第一に、メンバーや地域間の意見・情報・ノウハウ交流を活性化させて行こう、ということがございます。

その中心となる事業として、昨年度は第7回目の「サミット」を沖縄で開催いたしました。

基調講演は高崎経済大学の熊倉さん。

第1分科会では、「首里城火災からちょうど1年」という時期だったこともありまして、大窪先生にコーディネーターをお願いし、世界遺産の防災を始めとする議論をおこないました。パネリストは首里城の管理団体、法隆寺の火災経験をお持ちの斑鳩町。それをきっかけに文化財保護法や文化財防災デーができました。また地元からは石垣崩落からの復興経験を持つ、うるま市からご参加いただきました。

次に第2分科会は会の永遠のテーマでもある「世界遺産の保全と活用」に関するもので、神奈川大学の島川さんをコーディネーターに、それぞれ違ったスタンスで文化財の保全・活用に取り組んでおられる3つの地域にパネリストをお願いしました。

地元からは、斎場御嶽や男子禁制のおまつりイザイホーが伝承されてきた久高島のある南城市。白川郷の三島さんからは「売らない、貸さない、壊さない」運動などについてのお話。また、日光の岡井さんからは、住民がまちづくり規範を作り、保全と観光や商業を両立させようとされているといったお話がありました。

最後の第3分科会「世界遺産とIT」というテーマで、京都の久保美智代さんをコーディネーターに入江田さん、久保哲也さん、またグーグルと沖縄県の方にパネリストをお願いして実施しました。

バーチャルウォークをやられた平泉、また軍艦島デジタルミュージアムの久遠裕子さんにも電話での事例紹介をいただきました…「ITといいながらなんで電話よ」という所はあったんですが、そうしたアナログとの融合もそれはそれでかえって味わい深かったりもいたしました。

次に、日常的に意見・情報交換をおこなうメーリングリストにつきましては、9年間管理人をお勤め下さった今帰仁グスクを学ぶ会の山内さんから、久保美智代さんに管理人が引き継がれております。

また昨年度はコロナの影響もありまして、総会は持ち回りで。あとサミットの際に沖縄で現地にいらしてたメンバーの交流会を開催しております

PP2 資料2P、活動の第2は要望活動です。

昨年度は世界遺産議連や各関係省庁に要望書を送付させていただき、また12月には従来の超党派・世界遺産議連とは別途、「世界遺産サミット議連」が発足され、その会合におきましても、要望内容をご説明する時間を頂戴しております。

「サミット議連」の方は自民党の観光立国推進会議のメンバーの方々などを中心に、代表が鶴保先生、事務局長が沖縄の國場先生という形で活動を始めてらっしゃいます。

要望内容はここに記させていただいたような項目です。

新規の内容としては④、国立公園・日本遺産・伝統的建造物群保存地区・温泉など、管轄官庁やセクションがバラバラの観光資源を、世界遺産を軸に、都道府県ごとに再整理し、新幹線などともコラボして、海外に発信してはどうかという提案をいたしました…「世界遺産を核に」というのは我田引水でも何でもなくて、実際に、日本を訪れる外国人観光客に人気の観光地ベスト20のうち、半数が世界文化遺産だからです。

PP3 活動の第3はその下です。「各遺産毎の課題解決に資する会でありたい」ということで、文化庁の「文化財総合活用予算」を得まして、各地元とともに、紀伊山地・斑鳩・石見銀山という3つのプロジェクトチームを運営しております。

こうした、それぞれのプロジェクトチームで得られた事業ノウハウを全体として共有化できるようにして行きたい、と考えております。

写真は石見銀山プロジェクトチームです。西日本の世界遺産連携ということで、広島・廿日市・萩・姫路にもお声がけし、首都圏主要35駅、819画面を活用して、デジタルサイネージでの連携広告を実施しました。

こうしたことを出発点に、西日本に限らず、近接エリアごと、またテーマごと、例えば「産業遺産」ですね。そうして連携がさらに進んで行けばいいと思っております。

資料3Pにまいります、各遺産をできれば年間で1回ずつは訪問させていただき、勉強させていただいたり、意見交換させていただいたりということをやっております。とは言いましても60市町村近くありますので、全部と言うのはなかなか無理なんですけれど、昨年度はいちおう19遺産中の17に伺うことができました。

PP4 資料4Pに行きまして、4つめの事業項目は共同事業の推進です。

2019年の秋から、東京オリパラを目指し、「世界遺産リレー催事」がスタートしております。昨年度のラインアップはこのような恰好で、コロナで中止・延期・縮小などを余儀なくされた催事もございましたが、皆様のご協力のお陰で、なかなかいいスタートを切れたのではないかと考えております。

PP5 各催事は基本的にはそれぞれの地域にやっていただいている訳ですが、こうした調整と情報発信を国の「日本博」の支援を得、その一環で実施しております。

ご覧になったことのない方もいらっしゃると思いますので、画面で少し説明をさせていただきます。

まず、会のHPはこんな感じです。

①デザインの総合監修はかつて報道ステーションのオープニングとかも手がけてらっしゃった「赤い糸」の、奥下和彦さんをお願いしています。

②一応11言語で作っています。言い換えますと11種類のHPを同時に作っており、いっぽうではイベントにはいろんな変更が付きものですので、みかけ以上に手間のかかる作業です。

③例えばフランス語のページはこんな感じです。

④年間2つの遺産ずつ、各遺産紹介と催事記録の映像を作っております。本日早く入っていただいた方にはご覧いただけただかと思うんですが、まずは日本の四季を紹介しようということで、昨年度つくったのが紅葉時期の京都と二条城でのアートアクアリウム、そして桜の富士山です。一昨年には白川郷・五箇山の一斉放水と、姫路城という形になっております。

3分ほどですが、ご参考までに、「世界遺産リレー催事」2020のオープニングとなりました姫路城イベントの様子をご覧ください。

(映像放映)

⑤情報を定期的にリニューアルしていくことに加え、昨年度は富岡の熊倉さんのアイデアで「世界遺産でたどる日本史」のコーナーをリニューアルしました

⑥文字のない時代から始まり、古墳時代、仏教伝来、奈良の都、京都への遷都、12世紀の厳島神社や平泉、15世紀の琉球王国、16世紀になり石見銀山や姫路城、江戸時代に入り日光、白川郷、潜伏キリシタン、江戸が終わりました富岡製糸場と絹産業遺産群、明治日本の産業革命遺産群、そして昭和になって原爆ドームと国立西洋美術館という感じで、日本史の流れを世界の皆様に、ざっとご理解いただけるような仕掛けになっております。

PP6 さて、ご説明の方は資料5Pに戻ります。

こうした映像をまだ実験的な規模ではありますが、海外にも発信しています。オリンピックを機会に、世界遺産を活用して欧米豪対策を強化しようというのがこの「リレー催事」の「そもそも」のコンセプトですから、2019年にはロンドン・パリ・マドリッド、2020年にはNY・ロサンゼルス、あとは東京で、YOUTUBE 広告という形でやって見ております。

PP7 昨年度の結果を簡単にご紹介しますと、画面の赤字の部分ですが、約300万円のコストで画面に触れた方が119万人、30秒以上映像を見た方が18万4千人という数字が出ております

やってみないと分からないよなあというデータに一部をご紹介しますと、4種類の映像で最も人気があったのは、東京ではダントツで富士山でした。2番が京都、3番が姫路城、4番が白川郷・五箇山という順でした。

しかしそれがNY・ロサンゼルスでは全く逆の順番になってます。

トップが白川郷・五箇山、次いで姫路城、その次が京都、4番目が富士山ということで、まあこれからもこういうことを継続して行ければ、それぞれの遺産がどこの国のどいう方の関心を引くのかが、改めて分かってくるんじゃないかと思えます。

PP8 続きまして資料の6P7P、2020年度の決算にうつります。

表の太字部分が2020年度収入の部でございます、①の市町村会費収入は137万円。総会や要望活動、交流の場づくり、各地との意見交換など、会の活動の最も根幹の部分に充当される予算です。

②の事業収入は「日本博」関係のものが合計で約5344万、ただし右側に書いておりますように、国からの支援は2549万6千円、自己負担分が42万7941円、3分の1の裏打ち分には事業実施費相当として2751万7569円をかたち上ここに含ませていただいた数字です。従いまして会の実力はこの決算額から事業実施費相当額の2752万円を差し引いた額というのが現状でございます。

②の続く3項目は文化庁からの「文化財総合活用予算」です。紀伊山地PTに2224万、斑鳩PTに587万、石見銀山PTに約250万円の予算がついております。このPT予算は支出の部では差し引きゼロでそのまま同額が事業支出となります。以上4事業の合計が8405万3622円です。

③の交流会費ですが、これは一昨年まで総会・交流会をやっていた霞山会館が「パーティセット」で総会会場を借りておりました関係で、交流会参加費を計上し、支出はそれを含めた総会費として処理をしてきた経過があります。

が、昨年度サミットの際に実施した交流会は…どこかで聞いたことのあるお話ですが「居酒屋の入口で会費を払ってもらい、それぞれに領収書を出した」という形でおこないましたので、昨年度の収支はゼロ円ということになっております。

④の寄付金ですが、昨年は二条城で「アートアクアリウム」が開催され、入場料収入の1%を会にご寄付いただくことができました。

191万180円です…門川代表理事どうも有難うございました。

以上に、利息と前年度繰越金を合わせまして8956万1174円というのが昨年度の収入合計です。

PP9 続いて資料7Pが支出の部です。

右側の備考欄に①とかと書いてありますが、これは会にとって最も基礎的な部分が収入の部①の会費、あと足りない分は⑥の繰越金から拠出させていただいたという意味です。

支出の部1の要望活動費は11万4965円。いわゆる要望活動自体ができませんでしたので、内訳は要望書の印刷・筆耕・郵送にかかった費用です。

2の会議費が8万4462円と2019年に比べ大きく減っているのも同様の理由で、昨年度の内訳は印刷費と郵送料のみです。

3のイベント費用はサミットへの支援金です。28万5355円。具体的には大部分を占めるのが当初予定になかった「首里城ツアー」の開催費です。沖縄県でなかなか行けない場所へのツアーを何本か作って下さったんですが、開会寸前になって、鶴保先生から首里城関係のものがないかというご指摘を受けまして、言われてみれば確かにそりゃまずかろうということになり、会がその費用をもって実施したという経緯でございます。

4の広報費、一番上の5344万1510円は「世界遺産リレー催事」の関係で、収入の部で言うと②の第1項目 見合いです。いわゆる情報発信系、地域事業の実施費以外に、実行委員会関係4名の人件費、自己負担分交通費がここに含まれています。

括弧2つめの3万1525円はインターネットのプロバイダ料で、収入の部①からです。3つめ、その他とある16万490円は10周年記念パンフレットの作成費です。以上の合計が5363万3525円です。

5の事業推進費3086万512円のうちカッコの上3つは各プロジェクトチームに関するもので、収入の部②の「文化財総合活用事業」関係の収入との見合いです。唯一、その他で24万8400円とあるのは、のちほどご説明いたします「世界遺産写真展」での会の展示関係費用と、プロジェクトチーム運営にあたって国の費用で賄えないもの、例えば会場関係や、委員への謝金やなどの合計額です。

保守的経費としては6の調査研究費5万1724円、入場料・書籍購入・会合参加などの費用です。

7の交通費は「世界遺産リレー催事」に関係しないもの、またレンタカー・タクシー・ガソリン代等、そこに計上できなかったものの合計額となっています。

これとは別途「催事リレー関係」で公共交通機関を利用したものが収入の部備考欄にある42万7941円ですので、両者を合計すると一昨年とだいたい同額という形です。

お詫び申し上げますが、冊子資料のこの金額的には正しくは34万8982円です。大変申し訳ないことに、実は先月後半の監査で領収書金額の転記ミスが発覚しまして、もともとの冊子に記載した金額から80円引いたのが最終金額になっております。

以下、8通信費2万8382円、9消耗品費8万8083円。

10の事務雑費1200円は事務局開設や登記関係がいったん終了しておりますので、昨年よりだいぶ少なく、予算内に収まっております。

以上の支出合計は冊子に記載した金額から転記ミス分の80円を引いた、8549万7190円となり、寄付をいただいたこともあります。予定よりだいぶ多く、冊子記載金額に80円を足した406万3984円を本年度に繰り越すという形になっております。議案1議案2、昨年度事業と決算のご説明は以上です。

(監査報告)

門川代表理事

ありがとうございました。

これらの決算内容についてはPHP研究所の寺田さんに監査をお願いしております。では、寺田さん、監査報告を願います。

寺田

皆さんこんにちは。PHP研究所の寺田と申します。

監査報告の前にお詫び申し上げます。ここまでの画面上のパワーポイントとか動画関係のパワーポイントが乱れてしまいました。特に井戸さんの説明の後ろで中国語のBGMが若干混成して流れていたりしてなんか井戸さんに中国語の同時通訳がついているような感じになりました。

それでは監査でございますが、2020年の決算報告、ならびに領収書類等を監査させていただきましたが、適正に処理されておりましたことをご報告申し上げます。

どうもありがとうございました。

門川代表理事

寺田さん、本当に有難うございます。

監査だけでなく、我々も苦手なオンラインについてもお手伝いいただき、御礼申し上げます。

それではメンバーの皆さんからの補足のご報告やご発言を頂戴したいと思います。

新しくメーリングリストの管理をやっていただいている久保美智代さん、よろしければまずお一言。

旅する世界遺産研究家・久保美智代

皆さまこんにちわ。旅する世界遺産研究家久保美智代と申します。

最初に少し自己紹介させていただきます。私はこれまで50か国以上、400を超える世界遺産を訪れておりまして、日本の世界遺産23か所すべて訪れています。構成資産でちょっと行けてない所もあるのですが、世界遺産を統べて回っております。

それだけではなく、世界遺産地域に住んでみたいと思ひまして、奈良、姫路、現在は京都在住で世界遺産の魅力を講演やSNSを使って発信する活動をしています。

今丁度同じく登録十周年を迎えた平泉で奥州市「江刺藤原のさと」で私のパネル展を開いておりますのでお近くの方はぜひお越しください。

私とこの会はこの縁で2014年に京都の世界遺産サミットの際に、司会を承りまして、以降、メンバーにさせていただきました。

そして今年からメーリングリストの管理を任されております。

世界遺産地域の皆さんの懸け橋になるよう精一杯務めさせていただきますので躊躇せず、どんどんと地域の情報をメーリングリストにお寄せください。

皆様十周年記念ですので私から一つ提案させていただきます。こちらが見えるでしょうか。

何かわかりますでしょうか。二条城と姫路城の御執印ならぬ御城印状なんですね。

御朱印が数年前から人気なんです、一方ではいまお城ブームで、御城印状というのができています。

家紋が入っていていった記念になる。お城付きは日本中にいますし、すたんぷだと無料なのですがこちら300円前後で購入して参りましたので、しかも御執印だと墨で書きますが、これ印刷になっておりまして、お手軽と言いますが、手間なく手に入ります。立派な御城印状が各地でお売られていまして、これからもっとブームになるんじゃないかとこれを見つけて思いました。

そこで十周年記念ですので皆様にご提案です。御城印状ならぬ御世界遺産状のようなものを作られてはどうでしょうか。折角23か所ありますし、増えますけども、文化遺産も自然遺産もどんどん繋がっていく。一ついくともう一個行きたくなる。更に構成資産も行きたくなる。

私のような世界遺産好きなら一番に買ってどんどん集めたくなると思います。
御世界遺産印状、どうかよろしく願いいたします。

門川代表理事

久保美智代さんありがとうございます。
御世界遺産印帳、いいですね。
今日はこんなふうにとどどんアイデアお出してください。

それでは紀伊山地のプロジェクトチームをお世話いただいている熊野の多田さんお願いいたします。

田辺市くまのツーリズムビューロー会長・多田稔子

昨年度させて頂いていた事業報告のご説明も兼ね、発言させていただきます。この四年間、熊野古道のガイドブックを創らせていただきまして、立派なモノが四冊出来ました。紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産エリアをほとんどをカバーすることができました。

「伊勢路」も作ることが出来、熊野古道全体を道として繋ぐことが出来ました。
ガイドブックだけではなく、マップもそれぞれ出来ています。
ちなみに言語は全部英語です、全て英語の書下ろしです。
五年間予算をいただけるということで、今年は全部を一冊にまとめたダイジェスト版

を作ろうと思ってます。出来れば英語で作ったモノを、さらに日本語に翻訳し直したガイドブックを作りたいと思っています。

以上です、ありがとうございました。

門川代表理事

多田さん、先駆的な活動ありがとうございます。

これからも活躍できるようお祈りしております。

それでは決算内容について、質問ご意見有れば発言どうぞ。ここまでの説明や決算内容についてご質問やご意見等ある方おられますか？

…ないようでしたら、(議案1・2)に関してはこれでよろしいでしょうか？

(承認)

では引き続き(議案3・4)について事務局より説明下さい

(議案3・4)

お世話役・井戸

PP10 画面または資料9Pをご覧ください。本年度の事業計画です。

1番目の「連携・交流」を深化させるという面では、サミット・総会・交流会やMLなどを通し、会の運営や人的交流はもちろん、各地の進んだノウハウの共有に努めていきたいと思います。

継続事業に加え、今年は第8回目となるサミットが富士宮市で開催されます。概要については後ほど、須藤市長さんのほうからお話いただければと思います。

また2022年度の開催地として富岡市、2023年度には斑鳩町が立候補されていますので、会の総意としてご承認願えればと考えております。

サミットはそこまで10回目となりますので、早くも19遺産分の10ということになります。新しい遺産の皆さんもどうぞ遠慮なせずに、ご相談いただければと思います。

PP11 2番目は要望活動。資料では10Pの上側ですが、本年度についてはオリパラや衆議院選挙が終わる秋以降の実施を、コロナ情勢も見ながら判断するという恰好かと思います。

下側は3番目、「遺産ごとの支援や地域別課題の解消」に向け、今年も3つのプロジェクトチーム活動を進めてまいります。問題は、この「文化財総合活用事業」が最長5年ということで、実は紀伊山地は本年度がいったん最終年、斑鳩・石見銀山も来年度で終了予定となっています。

この予算は「主体となるのが実行委員会など非行政組織」で、「100%補助」、「ただし新規案件については情報発信 NG」というものです。それぞれの遺産で、PTという形ではなくすでに実施されている所も多数ありますが、もし会のPTとしてトライして見ることにご関心ある地域・遺産ありましたら、できるだけ早めに事務局までご相談願いたいと思います。例年の申請は12月ですが秋には動き始めないと間に合わないかなと思います。

PP12 4番目は世界遺産リレー催事です。

まず、映像についてはテロップを今年度に全て11言語にしました。日本語・英語・中国簡体語と繁体語・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語・ロシア語です。

問題は現状では予算の都合上2箇所ずつしか撮影できないんですね。1年に2本ずつですと、全部揃うのに何と10年もかかっちゃうということでありまして、私たちとしては撮れる遺産についてはできるだけ早く揃えていきたいという気持ちが当然ございます。

ご相談事として、各地域でもしどっちみち「映像を撮る」機会や予算があらわれる場合はぜひご相談願いたいんですね。こちらには多言語化とか、世界への発信とかも一応ついておりますので、地域としてのメリットもあるのではないかと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

あと、SNS広告については、今年は海外からの入国も難しいと思いますので、実験的の事業ということもありますし、今年度は思い切っただけでなかなかできない所をやりたいと思っています。

具体的にはドイツ・イタリア・ロシア。そしてポルトガル語圏を今年。

加えて、もしうまく来年度にも予算を継続いただければ、その時期には恐らくインバウンドそのものを一刻も早く再生しないといけないということになっているでしょうか、そこから1年間は欧米に拘らず中国・台湾・韓国あたりをやってみるのはどうかかと考えています。

PP13 さて、今年の「世界遺産リレー催事」のラインアップですが、資料11ページのような形で、なかなかいい感じでまとまりつつあります。資料作成後に1点変更がありまして、百舌鳥古墳群での世界遺産劇場、資料では10-11月開催となっていますが、2022年の3月実施への変更が決まっております。

1つ1つの遺産や催事が素晴らしいものであることは当然ですので、あとはどうこれを充実させ情報発信して行けるかだけですので、インバウンド再生を担う観光庁やJNTOからの応援も是非よろしく願いいたします。

PP14 ①「以外のこととしては、オリパラ終了後からの準備になりますが、奥下さんのデザインを活用し、世界文化遺産全体でのスタンプラリー開始を考えております。

1遺産1つの共通デザインということなのですが、問題は構成資産が多い遺産では全部の地域を1つのスタンプに入れ込むのは残念ながらちょっと不可能だということです。

その点ご了解いただいた上で「おいてやろうか」というメンバー市町村には全て1か所ずつどこかに設置させていただければと考えています。設置の可否、設置場所等についてはまたアンケートを取らせていただきますので、宜しくお願いいたします。

②会の資金だけでできるPRはたかが知れております。こういうご時世ですのでうまく行くかどうかはまた別の話ですが、JR各社や航空会社にも応援してもらえるように働きかけたいと思っています。

③10周年関係では、すでにお配りしたパンフレット作成。皆様をお願いしたいのは「こうした会があり、それなりにしっかり活動していることを、各組織内の方ふくめ、こ

れから力になって下さるかも知れない方々にPRいただきたい」。そのためのツールに使っていただきたいということでございます。

幸か不幸か部数的にはまだたんとございますので(笑)、ぜひ「何部くれ」ということを事務局までお知らせいただきたいと思っております。

④あと、7月1日から20日にかけては、六本木の東京ミッドタウンにある「富士フィルムギャラリー」で世界遺産写真展が開催されます。記念写真集とかも発売されることになっています。

事業説明の最後になりますが、10年前の今日、会の発足総会が開かれました。今日は「これからの10年」を考えるととてもいい機会だと思っております。10年前、「すぐにできないことも含め、とりあえずアイデア倉庫を一杯にしておきましょう」ということを呼び掛けさせていただきました。

10年たってチェックしてみると「やってみただけどうまく行かなかった」ことも含め、ほぼ全てのアイデアに何らかの形でトライすることができております。

世界遺産催事リレーとかも、そもそもは姫路市さんから「オリパラに向け、姫路は何かやりたいので、何か所かで一緒にやりませんか？」というのが発端です。そういったある意味気軽に考えたアイデアが、全体のプラスになっていくということが大いにありますので、ご協力よろしく願いいたします。

PP15 それでは議案4、本年度の予算につきご説明させていただきます。

資料12Pの太字部分、収入の部としては①の市町村会費が昨年決算同額の137万円。縄文遺産群の地域からの入会がある可能性があります、予算措置の問題とかもありますので、恒例どおり初年度の会費負担はゼロということにさせていただきたいと思っております。

②の事業収入としては現時点で「リレー催事」と3つのプロジェクトチームの予算が確定しております、その合計が8311万9365円。

冊子に80円加えた昨年からの繰越金をこれに合わせまして、本年度の収入予算は冊子より80円多い、8855万3339円となります。

PP16 資料13Pが支出の部です。

1の要望活動に20万、2の会議費は15万。3のイベント費はサミット関係などに20万円。4の広報費としては「催事リレー」は収入見合いで4341万9355円。差額は

自己負担金となりますが、少額です。HPプロバイダーに3万、以外に10周年関係の広報予算として50万円を組ませていただきました、以上の広報費の合計は4394万9355円です。

5の事業推進費は収入の部②の文化財総合活用事業に対応するプロジェクトチーム予算です。国対応不能分の予算を昨年同様10万円として、以上の合計が3980万円。以外に保守的経費として調査研究費5万円、旅費交通費に25万円、ただし交通費については備考欄にありますように、催事リレー関係で別途、何人で動くかにもよりますが96万円ほどの予算を組んでおります。

以外に通信費に5万円、消耗品費に10万円、事務雑費に2万円を確保させていただきました、支出予算の合計**8476万9355円**。冊子より80円多い378万3984円を次年度繰越金として残して、合計が冊子より80円増えて8855万3339円というのが支出予算です。

ご説明のほうは以上です。

門川代表理事

井戸事務局長、ありがとうございます。

(議案3・4)に関し、ご質問があれば挙手願いたいと思います。

いかがでしょうか？

…それでは後半の事は議案3, 4に加えて、これからの十年はこういうことをやってみてはどうかという事を含めて皆様のアイデアをうかがいたいと思います。

いま、井戸事務局長から話がありましたように、夢を温めてきたものが何らかの形で実現に向かっている、そういう十年でありました。今日も十年を記念して皆様の積極的な意見をうかがいながら進めて参りたい。このように考えております。

まずは初めてこの会に御出席を頂いた長崎市長の田上さん、これまでの活動に対してのご意見ご感想などございましたらお願いいたします。

長崎市・田上市長

長崎市長の田上です。聞こえますでしょうか？
門川市長、御無沙汰しております。

門川代表理事

本当にご無沙汰しております。またお会いしたいですね。

長崎市・田上市長

本当ですね。この会も門川市長に誘って頂いて入会させていただいたんですけども、色んな皆さんのお世話をして頂いて、本当にありがとうございます。

長崎の場合は二つ世界遺産がございまして、産業革命遺産と潜伏キリシタン関連のものなんですけども、どちらもシリアルノミネーションなんですね。

それで非常にたくさんの地域の皆さんとお付き合いをさせてもらっています。

その中でも特に産業革命遺産の一つの軍艦島が人気ではあるんですが、そもそも文化財である軍艦島が少しずつ崩壊して行くと、崩壊していくのをある意味止められない、少しずつ崩壊していくのを見て頂くという特殊な遺産でして、保存が非常に難しく、国の方とも相談させてもらっています。

そういう中でこういう会があると、世界遺産の動きについては、皆さん共通の悩みを抱えておられますので、こういう会があると非常にありがたいと思っています。

それで先ほど、スタンプラリーの話がありまして、それから御世界遺産印帳の話がありましたけど、凄く面白いと思います。この会にピッタリだと思いますし、それからそういうのがクラブツーリズムみたいなものと合体すると、勝手に民間の方で商品を作ってもらって、勝手に商品を貰ってもらったら非常に素晴らしいと思います。

多分全部回りたいて人が出てくるんじゃないかと思います。

それからもう一つすごく大事だなって思うのがネットワークがある事で、人が育つという事だろうと思うんですね、

いま実際にコロナで直接行ったり来たり出来ませんが、世界遺産、自分のとこ

ろ以外の世界遺産を見て、どんな苦勞をどんな工夫で克服してきたとかの苦勞話を共有してそれがどっかに残って引き継がれていくようなネットワークの力を人材交流に生かしていけたらなと思っています。

百年の計は人を育てる事が一番だというお話で、世界遺産は百年単位でのお話になると思うので、人を育てるという事がこの交流の中で出来たら素晴らしいなと思います。

いつもお世話いただき本当にありがとうございます。

門川代表理事

ネットワークの中で人が育つというのは非常に大事なご視点だな、と思います。

色んな場で生かしていきたいなと思いますので、また積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

では、本年度のサミットの開催地になっておられます富士宮市須藤市長、それ以外の事も含めてご発言お願いいたします。

富士宮市・須藤市長

皆さん改めまして、富士宮市長の須藤秀忠です。

第8回世界遺産サミットの開催を富士宮で開くという事を大変うれしく、また大変ありがたく思っております。

ただ、少し気がかりなことがありまして、世界遺産サミットを富士宮市で開催するにあたりまして、富士宮市としての考えをお話しさせていただきます。

まずは開催期日についてですが、事業計画に示してありますように今年の10月27日水曜日と28日木曜日に開催予定です。

現在その内容につきましては、世界遺産地域連携会議や観光庁と相談しながら鋭意準備中であります。

しかしながらコロナの収束の見通しがつかない中で、開催の内容について計画通りに進行するのが困難ではないかと考えあぐねている状況であります。

議案書にはこのような事業内容を紹介してございますが、場合によってはインター

ネットのライブ配信など情報技術を用いての開催も視野に入れております。

詳しいことは追ってお知らせいたしますが、現下の状況を鑑みて不確定で申し訳ないのですが、何分にもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

門川代表理事

ご苦労さんです。大変ですけども、ただ10月の27日までにみんなワクチンが打って富士宮に行こうと、そういう事も出来たらよろしいですね、お願いいたします。

それでは次に、会の副代表理事でもあり、斑鳩の中西町長よろしくお願いいたします。2023年のサミットに立候補してらっしゃいます。

斑鳩町 中西町長

皆さんこんにちは。今回はですね、世界遺産地域連携会議の設立10周年ということで、この10年間皆様方御尽力もあり、この日を迎える事が出来ました。皆様方に敬意を示すと共に感謝を申し上げます。

いまコロナの関係でですね、本当に日本だけでなく世界中で色々な影響が出ています。特に観光産業におきましては外国からの入国制限、渡航制限といったこと、また国内では県境をまたぐ移動の制限、不要の外出の自粛といったですね、本当に色々な事、全国各地の観光面に関してはですね、大きな影響が出ております。

当町におきましても世界文化遺産であります法隆寺でも昨年は4月23日から5月20日までですね、拝観休止という形を取らせていただいたところでございます。

そのような中、文化遺産に登録された当時ですと、観光客の方も約百万人来られてましたが、今回のコロナの影響で21万人という事で、約5分の1までに減少してきているような状況でございます。

このような中ですけども、2年後の2023年。ちょうどサミットが行われる年でございますけども、法隆寺が世界遺産に登録されて30周年という節目を迎えます。

そのような中で法隆寺を始めとする文化財の保存・活用といった形で未来に、貴重な文化財を未来に継承していくというのが我々に課せられた責務であると感じておりますので今後引き続き、本日ご参加の皆様形との連携、繋がりを深めながら世界文

化遺産の魅力というものを各地に発信してまいりたいと考えております。
どうかよろしく願いいたします。

門川代表理事

中西町長ありがとうございます。
共々に努力してまいりたいと思っております。敬意を表します。
それではここで一旦議案の3, 4に関しましてご承認の手続きを取りたいと思います。
何かご意見ご質問ある方はおられますでしょうか。

それでは内容に関しましては引き続きご意見を賜るものと致しまして、総会としての
議案3・4に関しましてご承認いただけますか？

(異議なし)

ありがとうございました。承認いただけたという事で、これからの十年、こういうこと
をしてはどうか、ということでどんどんご発言いただきたいと思っております。

ご発言のサインを送って頂ければありがたいですし、なければわたくし、会長の特
権でご指名させていきたいと思っておりますけども・・・いかがですか？

それではまず、今年登録10周年を迎えられました平泉の青木町長さんどうでしょう

平泉町・青木町長

平泉の青木です。大変お世話になってます。元気なお姿を見まして、大変うれしく
思っております。

お陰さんですね、縄文の遺跡群がですね、イコモスの勧告を受けまして、いよいよ7月に登録になると思います。

岩手でも明治の革命遺産の橋野鉦山、平泉、そして御所野遺跡がですね、肩を並
べで3つ揃う事になります。

この3つが県内でもきちっと連携してですね、平泉も登録して10年になりまして、この連携会議も10年を迎えたわけですから、歩調を合わせながらですね、東北を広く発信していきたいと思っております。そういった中でもですね、平泉は先頭を切りながらやっていきたいと思っております。

平泉が登録されたちょうど10年前はですね、震災の年でありました。

そして今回登録が成ると思う御所野遺跡は感染症の年であります。

そういった意味では歴史的に大変大事な年になると思いますので、更に意を強くして参りたいと思います、以上です。

門川代表理事

青木町長ありがとうございます。東日本大震災から10年。

いままたコロナ禍で厳しい状況ですが、明るい話題も元気な顔も拝見させていただきありがとうございます。共々に頑張っていきたいと思っております。

福津市長の原崎さん、「沖ノ島・宗像」の関連遺産として新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群をお持ちですが、こちらは来年5周年だと思います。この間、ご苦労された点や工夫されたことなどあればご紹介下さい。

福津市・原崎市長

こんにちは、福岡県福津市の原崎と申します。

我が町は隣の宗像市と福津市の両市ですね、神宿る島、宗像、沖ノ島と関連遺産群として、ちょうど4年前、平成29年の7月にオランダの世界遺産会議で、世界遺産登録されました。その日のことは、昨日のことに覚えております。

個人的なことですが、4年前3月に市長に就任した1週間後にですね、イコモスから所謂除外勧告を受けまして、前市長さんを引き継いで、スタートと同時に一生懸命やりました。7月に登録されて現地に向かいましたけども、その時の逆転の興奮は忘れません。

人口六万七千人の我が街です。古墳と言えばその後登録された百舌鳥・古市古墳が有名ですけども、我がまちにも41基の古墳があります。今二期目が始まりまして所信表明にも書いてありますけども、神宿る島、沖の島という世界遺産を構成するもの

としてわが町の古墳群を守り、活用して地域の皆様に愛していただき、外に向かって
も発信して行くのが責務と感じ、今この場にいます。

こういった連携会議、有難いと思っております。

ご提案にもありました通り、日本に沢山あります世界文化遺産の素晴らしい遺産が
ありますので御世界遺産印帳ですかね、各地を巡っていく取り組みですね、いまコロ
ナで大変ですけども、ある程度収束いたしましたらしっかりとわたくしも福津市と共に
いろいろご指導いただきながら頑張りたいと、そのように思っております。

門川代表理事

ありがとうございます。登録時の総会に御参加いただいた時のことを改めて思い出
します。

それでは紀伊山地の高野町長、平野さんどうでしょう。

高野町・平野町長

皆さん御無沙汰しています。和歌山県高野町の平野と申します。

高野町というと四国かとはよく間違われるのですが、和歌山県ですのでお間違いな
いようお願いいたします。

このコロナかでどこも大変なんですけど、我が町も大打撃を受けておまして、紀伊
山地に外国の方が多数来てくださってたという事で宿坊も大変でございましたが、宿
坊というのは宗教団体でございますので、旅行業法ですね、ちゃんと許可を得た旅
館であるはずが、やはり宗教団体という事もあって持続化給付金の対象外となりまし
た。

内閣の法制局の方ではこれはオケーと出たんですが、与党内で綱引きがあったよ
うで・・・色々なこの世界遺産の関連する京都市長をはじめとする皆さんとの繋がり、
事務局だけではありません、観光協会、色々な方々ですね、協力をしあってこのコ
ロナか2019年レベルまではやく持っていきたいとわが町も思っておりますので、どう
ぞ引き続き、ご指導いただくようお願いいたします。

門川代表理事

有難うございました。ご苦勞の大変さ分かります。京都市も危機的な状況で、この魅力あふれる街を絶対に次の世代に繋げていく、そのために今必死な想いをしております。厳しさの中にやはり連帯感を高めて共々に頑張っていきたいと思っております。

あと少しのお時間なんですけども、会場から発言をお願いしたいと思っております。富岡の熊倉さん。サミットや写真展では大変お世話になりました。

富岡・熊倉

はい。短い時間ですが、三つほどお話しします。

沖縄のサミットですが、前年度の日光での後援者がデビット・アトキンソンさんだったのでだいぶ緊張しました。皆さん極めてお忙しい中わたしだけが空いていたんだろうと思いますが、そんな中であって私たちの日本列島に共存している世界遺産のお話を多少なりともさせていただきました。

その時に学んだお話、世界文化遺産で巡る日本の歴史について、富士フィルムさんの世界文化遺産の写真展を解説する中でも紹介させていただきました。

今回、北東北、北海道の縄文遺跡群が世界遺産になるわけですけども、そこまで含めると原始から現代まであらゆる時代に渡って私たちの国には世界文化遺産があるということになります。

しかもそれが一地域だけではなく、あまねく日本中に点在している。

そういう形の中で多様性とか広域性とかを通じて、また一度戦火に焼かれても必ず再建してきたその中にSDGsに繋がるモノがあると思います。

加えて、地域連携会議の事も何とかもっと日本中の皆さんに知っていただければと思います

三点目は本日、榎本市長がご欠席ですので、富岡を舞台とする第9回サミットに向け、皆さん頑張っていますという事を補足させていただきます。

纏まらない話ですけども、ありがとうございました。

門川代表理事

貴重なお話ありがとうございます。

それでは NPO 奈良好き人の集い辰巳さんお願いいたします。

奈良・辰巳

NPO 法人奈良付き人の集いの辰巳と申します。

民間レベルでの活動がもっと盛んになるよう願っております、今日も行政の方が沢山おいでになられておりますが、私は世界遺産の場所において、市民レベルでの活動がもっと盛んになって、そしてその世界遺産をまもって伝えて生かすという事が市民レベルでも自発的に活動できればいいのかなと思っております。

その中で門川市長さん、井戸事務局長さん。十年間働かれてありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします、私からは以上です。

門川代表理事

辰巳さんありがとうございます。

この会の素晴らしさは地域で活躍されている方が参画、その輪が広がっている事だと思います。

元・日本航空の須藤さん。何かご提案はありませんか？

元・日本航空 須藤

はい。そうですね、前に一度、お話ししましたが、今日も予算見てて思ったんですけども、寄付というものがゼロという事で非常に残念に思っております、日本の文化ですね、寄付文化があまりないという事かもしれませんけど。

今は寄付も多様化しておりますので、是非こういうことを積極的に取り入れるという動きを作っていくという事と、先ほど辰巳さんも仰っていましたが、私、市井の人もこういう会に参加することが、この会を永続的に発展させていくためにもですね、若い人、SNS、Twitter など色々皆さん活用されているので、今回ご参加いただいている方に

もこういうIT系に強い人もおられますでしょうし、もっと若い人を誘って この会の活動を、皆さんに理解いただき、そういう人たちも参画する動きを作って頂けたらと思います。以上です。

門川代表理事

おおきに。須藤さんありがとうございます。特に寄付文化のこと、若い人の才覚のこと、非常にありがたいと思います。素晴らしい床の間で輝いて居ります。ありがとうございました。

DMO 推進機構の大社さん、一言ご発言お願いできますでしょうか。

DMO推進機構・大社

こんにちは。

先ほどのご報告にあった通り、DMO登録を目指すという事でしたがその辺りは出来る限りご協力をしたいなと思っておりますので遠慮なくお声がけいただければと思います。よろしく願いいたします。

門川代表理事

大社さん、よろしくお願ひします。

それでは全国街道交流会議の藤本さん、国交省で大変お世話になりましたけども、おられますでしょうか。

全国街道交流会議・藤本

はい、藤本です。どうもご苦労様です、聞こえてますか。

世界遺産会議も、さまざまな活動ができてきて、特に理念の方は各世界遺の特色が出てきていいんじゃないでしょうか。

私も是非、色々ご協力させていただければと思っているのですが、あと一点、先ほど高野町の町長さんのお話がありましたけども、コロナで随分と苦労されていると。

インバウンドや人の動きは随分と減ってきたとだいたいご承知の通りですが、私も先週ワクチン打ってきましたけども、皆さんワクチン打ってきますと、いよいよ反転攻勢に打って出る時期と思います。

ところが人の動きになりますと、買い物も通勤もそんなに増えないと思います。しかし、観光は確実に戻ると思います。そういう意味で世界遺産会議はぜひ、観光関係の地域おこしをされている皆さん、ぜひ頑張ってくださいと思います。

門川代表理事

ありがとうございます。貴重なご意見でございます。
それでは島川さん、おられるでしょうか。

神奈川大学・島川

はい、島川でございます。市長、御無沙汰しております、皆さんご無沙汰しております。十周年おめでとうございます。

本当にコロナ大変な中、皆さんご苦勞されていると思います、去年のサミットで皆さんにお会いできたことは奇跡だと思っています。富士宮サミットも成功させたいと思っております。

私、サミットは沖縄が初めてでして、大学教員をやっていますと平日のど真ん中に参加するというのは難しいですが、コロナによって遠隔授業になりまして、全部リモートになりまして、だったら出来るじゃないかと授業の合間に会場へと向かいました。

コロナも悪い事ばかりではないのかなと思っております。

で、十周年振り返って見まして、井戸事務局長のお手伝いを色々させていただきまして、色々思う所というか考えさせられまして、会合が基礎自治体と民間の共同で開催されているというのが本当に良かったなと思いました。

しかし一方では、行政の方は人が変わってもちゃんと引継ぎがされているんですが、民間の方は連絡が取れない人、動向が分からない人が出て来られてるのも事実です。

10年経ちましたので、ここでいったんこれからの10年また一緒にやって以降っていう気持ちをもう一度皆さんと意思確認する機会があると良いと思います。

お世話役・井戸

発足時のメンバーはまあみんな10年年取ったということで・・・継続意思確認みたいなことをするってこと？

神奈川大学・島川

そうですね、あまりきつくやっちゃうとあれですけど、また10年共に頑張ろうという気運調整のような事をするとういと思います。

また須藤さんからもありましたけど、若手を入れないといけない。私も若い若いと思いつながら50になりました。これは大学教員を やっていますので、もっと若い人たちを集めてメンバーに入れていかないとけないなと須藤さんの話を聞いて思いました。

あとは以前からのお話として、自然遺産にも声がけしたらどうかってお話もありましたけど、これにはメリット・デメリットがあると思います。

この文化遺産の枠組みはよくできていると思います。メリット・デメリットをよく吟味されて、メリットが多ければ入れればいいし、デメリットが多ければ文化遺産だけでさらに結束すればいいと思います。なし崩し的になるんじゃなくて少し考えて次の十年やっければいいと思います。

以上二点、これからの運営上の課題として、議論していただければと思います。

門川代表理事

ありがとうございます。

お世話役・井戸

現状だけちょっと言わせていただきます。あまり間口を広げるなと仰る人もおられれば、自然遺産も入れたほうが支援しやすいという意見を仰る方もいらっしゃいます。

で、2回目のサミットの際にどうですかってことを自然遺産各地と話したら、自然遺産は自然遺産やりたいっていうお話がありまして・・・文化遺産に巻き込まれないでやりたいってお話もあったんで、ああそうなのかって事なんでいったん話が終わってます。ですがどうも自然遺産の会とかはできてないみたいなので、その辺りを議論して一年後くらいに結論を出すとか、オブザーバーとしてだけ来てもらう分には歓迎しようとか

なんかこうスタンスをはっきり決めたいですね、一年位かけて。ありがとうございます。

門川代表理事

そろそろ、締めのお時間が近づいてきました。最後に国からのご来賓に一言ずつ。本日のご感想ふくめお聞かせ願いたいと思います。

まず、日本博でも大変お世話になりました、文化庁の山田室長さん

文化庁・山田室長

文化庁の山田です。よろしく願いいたします。

こういった自治体の皆様とですね、長年世界遺産について取り組んでおられるという事で大変頭が下がる思いです。

我々も一部ながらですね、補助をさせて頂いてですね、ご協力をさせて頂いているところでございます。

皆さん大変素晴らしい取り組みをされておられるんですが、折角皆さんこういう風にあつまってやられているんですけども、主に発信、活用という部分に重きを置いておられると思うんですが、皆さん近くに風力発電が出来た、どうしようとか・・・保存上の悩みをお抱えになっておられると思います。

そういった所もですね、こういった機会なかなかないと思いますので、議論を深めていただくと皆様のためになるのかなとこういったふうに感想を持ちました。

また引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございます。

門川代表理事

ありがとうございます。保存も悩みであり、会の大きなテーマでもあります。引き続きご指導お願いいたします。

それでは観光庁横田室長、サミットでいつもお世話になっております。

観光庁 横田室長

横田です。本日は初めて参加させていただきました。貴重な時間をありがとうございます。

観光庁は皆さんの観光業がどれだけ大変な状況に陥っているかということ、把握しているところですけど、やはりワクチン接種の普及によって今後の反転攻勢に向けてしっかりと手を緩めず、観光産業の支援を引き続きしていきたいと思っております。

第一次募集が年度初め四月から色々な事業から始まりまして、本当に多くの自治体、方々からの予算申請をしていただいております。皆さん大変ながらも新しいアイデアと技術に対応したものを駆使しながらチャレンジしていただいている事、本当にこの場を借りて感謝を申し上げます。

皆さん元気、活力を失わず多くの事に果敢に取り組んでいらっしゃるんだなことを改めて力を頂いているところです。

世界遺産という事で観光資源として、既にかかなりのポテンシャルを有していらっしゃる皆様でいらっしゃるんですけども、観光庁としてもですね、世界遺産という切り口の予算というのはなかなかないんですけども、当然様々なコンテンツ支援の中に世界遺産を含むモノ皆さん色々申請してきていただいております。

そういった予算活用の取り組みを通じながら引き続き支援していけたらいいなと思っておりますので、是非引き続きよろしく願いいたします。

本日はありがとうございます。

門川代表理事

横田室長、ありがとうございます。僕らもお世話になります。

世の中の事で孤立や貧困や、更には格差、世界の分断など様々な課題はございますけども、乗り越えなければならない。このように改めて実感しています。

こんな事を言う人がいらっしゃいました。戦争の反対はなんだ？・・・平和。

しかし、平和はもちろんやけども、戦争の反対語は交流である。国で言えば外交。

我々はこの文化交流を世界遺産を通じた交流は基より、世界と交流していく。

そのことによって人々の心が通じ合い、平和を実現していく。

観光というのが、文化というのが最大の平和維持装置だ。このようにも改めて認識しております。

そうした事も含めて世界遺産地域連携会議益々そのような役割を果たしていきたい。

このように思います。

それでは本日の締めとして、十周年にちなんで宣言を採択できればと思います。紹介をお願いいたします。

京都市

世界文化遺産地域連携会議 設立 10 周年を迎えて それぞれの地域で愛され、育まれてきた、人類共通の財産である世界文化遺産を、地域が連携しながら保存し、活かしていく。その志を同じくする、世界文化遺産を有する地域や各界の有識者等が集い、発足した世界文化遺産地域連携会議は、本日、設立 10 周年を迎えた。設立以来、各地域が抱える課題やその解決のためのノウハウ を共有するとともに、国等への提案、世界遺産リレー催事をはじめとする様々な共同事業を実施し、着実に成果を上げてきた。世界は今、新型コロナウイルス感染症による様々な分断や環境破壊などの危機にさらされている。そのような中、世界文化遺産は、人々を希望と夢の光で照らし、地域の絆を深め、地域の新たな活力の源となることによって、疲弊した文化芸術や社会経済を回復し、持続可能な社会を構築するための大きな力となる。我々は、改めて、世界文化遺産を保有する地域の一員である重責を胸に、日本の発展、さらには、世界平和の実現に向け、その 保存活用に、連携して全力で取り組んでいくことをここに宣言する。

令和3年6月7日 一般社団法人・世界文化遺産地域連携会議

門川代表理事

ご賛同いただけますでしょうか、拍手をお願いいたします。

……ありがとうございます。

それでは十年の貴重な歩みを再認識し、次の十年へ、いや百年の計だというお話もありました。共々に頑張っていきたいと思います。

ご参加いただいた皆さんに敬意を表します。

また、井戸さん、寺田さんありがとうございます。

またリアルでお会いしたいと思います。お疲れさまでした。

(終了)